

昭和 39 年 7 月 山陰・北陸豪雨

【昭和 39 (1964) 年 7 月 15 日～19 日】

■気象の概要

山陰地方を東西に走る梅雨前線は、7月15日から16日にかけて活動が活発となり、松江の雨量は15日に78mm、16日には201mmに達しました。この梅雨前線は17日にはいったん北上し日本海に出ましたが、18日朝には再び南下し活発化しました。台風7号から変わった熱帯低気圧の影響により高温多湿な南西気流が流入したこともあって、島根県東部から鳥取県西部にかけて、および石川県、富山県では18日の日降水量は200mmを超える大雨となりました。総雨量は松江で590mmにも達していますが、島根県西部の浜田では80mm程度でした。典型的な梅雨末期の局地的豪雨といえ、気象庁はこの一連の大雨を「昭和39年7月山陰・北陸豪雨」と命名しました。

■15日～19日の雨量 (mm)

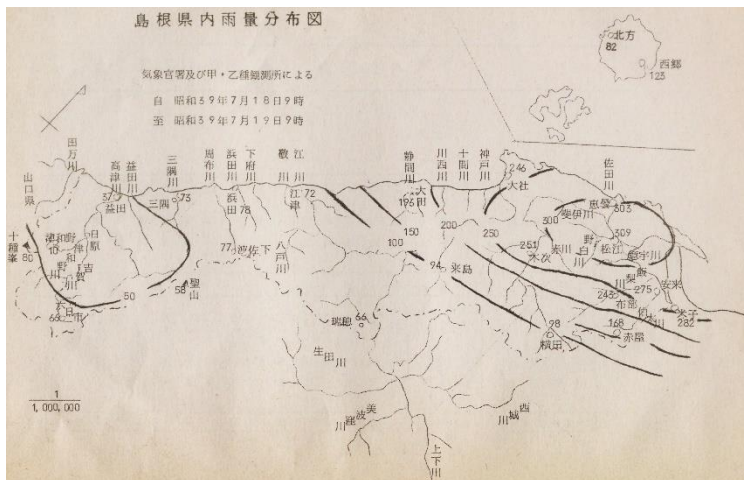
日	浜田	松江	境	米子
7月15日	0.8	77.9	92.7	78.6
16日	0.1	201.3	123.2	115.9
17日	0.0	0.4	0.0	0.7
18日	37.2	263.8	238.6	206.8
19日	45.0	46.4	34.9	75.8
計	83.1	589.8	489.4	477.8

(出典：気象庁HP「過去の気象データ」)

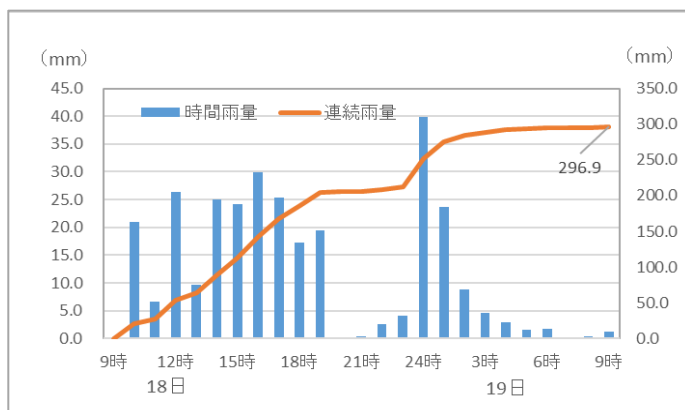
■被害の状況

山陰・北陸豪雨では全国で死者・行方不明 132人、浸水家屋約 58,000 棟など大きな被害となりましたが、突出しているのは人的被害の85%を占める島根県の被害です。中でも死者・行方不明は現在の出雲市、雲南市、大田市域に集中しています。これらの地域では、18日の昼と同日の深夜から19日未明の豪雨のため、出雲平野に隣接する新第三紀層や風化花崗岩の丘陵地帯でがけ崩れ、山崩れを中心とした斜面崩壊が多発しました。犠牲者の90%以上はがけ崩れを主とした土砂災害によってもたらされています。

河川の氾濫では、斐伊川本川の堤防決壊はありませんでしたが、支流の赤川、久野川では各所で決壊しました。特に旧加茂町(現雲南市)では、人家連坦地近くの赤川堤防が19日午前3時頃決壊したため、町の中心部の全てが浸水被害を受けました。しかし、決壊の直前に住民のほとんどが避



降雨量分布図 (18日9時～19日9時) 【出典：松江地方気象台「昭和39年7月山陰北陸豪雨に関する異常気象速報」】



松江の時間雨量と連続雨量 (18日9時～19日9時)

■山陰北陸豪雨の主な被害

区分	単位	鳥取県	島根県	全国
人的被害	死者	2	110	114
	行方不明	-	2	18
	負傷者	5	189	221
住家被害	全壊・流失	4	450	669
	半壊	1	730	不明
	床上浸水	671	5,010	9,360
	床下浸水	13,663	17,138	48,616

全国値は「消防白書」による



土砂災害現場の捜索作業 (出雲市上塩冶町)

【出典：「出雲市制施行50周年記念写真集」】

難を完了していたため、人的被害は軽微にとどまっています。赤川の氾濫では、天井川である斐伊川への流下
が阻害された（バックウォーター現象）可能性も指摘されています。また、斐伊川下流の平野部でも中小河川の
決壊や内水氾濫によって、出雲市、平田市などで約 11,000 戸が浸水しています。今回の豪雨の降水量は、出雲
地方の平野部で多く、上流の山間部に向かうほど漸減していました。もし、豪雨が上流域にも及ぶ広いもので
あれば、甚大な土砂災害に加えさらに大規模な水害となったと予想されます。

鳥取県西部では、米子市と境港市を中心に豪雨による低い土地の浸水、加茂川の決壊や逆流による氾濫の浸
水被害が大きく、市街地近郊の一部でがけ崩れによる被害も発生しました。



赤川の決壊により浸水した家屋からの救助作業（雲
南市加茂町）【出典：出雲工事事務所：「斐伊川水系洪水水
文資料および写真集」】



赤川の決壊により水没・倒壊した家屋（雲南市加茂町）
【出典：出雲工事事務所：「斐伊川水系洪水水文資料および写真
集」】

災害の記憶を伝える



出雲市、一の谷公園の水害地蔵（島根県出雲市今市町）

※写真をクリックすると位置が表示されます

出雲市域では、旧出雲市で 43 人、旧多伎村で 12 人、旧
湖陵村と旧斐川町で 11 人など 77 人が犠牲になりました。
このほか、雲南市域では 18 人、大田市域で 10 人など、
島根県全体で 112 人の死者・行方不明を出しています。
出雲民芸協会では、犠牲者の冥福を祈って、市民の
憩いの場である一の谷公園に地蔵菩薩を建立し、災害か
ら 1 年後の昭和 40 年 7 月 18 日に開眼供養法要が行われ
ました。



水害地蔵の縁起を記したプレート

昭和三十九年七月十八日の夜半から
突如この地方を襲った集中豪雨は一
夜に島根県で百十人の尊い人命を奪
い取りました。出雲民芸協会ではこの
水害でなくなられた犠牲者の方々の
ご冥福を祈り、また再びこのような災
禍のおこらないようにここに地蔵菩薩
を安置いたします
昭和四十年七月十八日
出雲民芸協会